



【支援企業紹介】 ②

株式会社 水沢鑄工所

変化し続けることで、 伝統と技術を守りぬく

理事長ご挨拶 ④

平成26年度
センター事業の
あらまし ④

専門展示会等出展費用
助成事業のご案内 ④

設備貸与制度のご案内 ⑧

水沢鑄工所の これがポイント!

南部鉄器と、昔ながらの羽釜という2つの伝統文化を凝縮。素材の強度や品質を維持するために鑄物素材から極限まで切削するという方法を採用、厳しい寸法精度にも対応した究極の“量産品”だ。



事業カレンダー

いわて産業振興センターに関連する事業紹介です

5月 [MAY]

- 22日・23日 ものづくりアカデミー・品質管理基礎講座(北上市)
- 23日~28日 いわて特産品フェア(盛岡市)

6月 [JUNE]

- 12日~14日 メディカルショー・ジャパン&ビジネスエキスポ2014(新潟県)
- 19日・20日 ものづくりアカデミー・工程改善基礎講座(北上市)
- 25日~27日 第18回機械要素技術展(東京都)

7月 [JULY]

- 2日 三県合同商談会(東京都)
- 15日・16日 ものづくりアカデミー・管理者のための生産管理セミナー(盛岡市)

技アリ!

いわての仕事録



1 600kwの出力を有する高周波誘導電気炉。2基のつばで1500度以上で熔解した鋳物は素早く注湯ラインへと搬送されていく。
 2 アルミ模型から鋳型を製造する自動造型機。ホッパーから投入された砂で鋳型を作り、中子をセットするのは人の手で行われる。
 3 溶けた鋳物は注湯ラインへ運ばれ、慎重に鋳型に注がれていく。その後冷却・ショットブラスト・研磨などの工程を経て素材が完成。
 4 炊飯ジャー内釜の切削・研磨ライン。完成した素材はおよそ7kgあり、ここから本体にセットできるサイズにまで切削していく。オーダーに応えるため独自に切削用治具も開発した。
 5 内釜の重量は1800gで誤差は20g以内。高い技術力と職人気質のスタッフが厳しい条件に当たっている。
 6 止水栓に塩ビのパイプをセット、製品として納入。

変化し続ける「匠」で、伝統と技術を守りぬく

【支援企業紹介】 奥州市 株式会社水沢鋳工所

長い歴史を誇る鋳物産地水沢で 機械部品鋳物を手広く製造

欧米をはじめ中国など、世界各地で注目されている南部鉄器。そのルーツは盛岡市が南部藩の庇護のもと鉄瓶などの茶道具の生産から始まったのに対し、県南の水沢市（現在の奥州市）では「水沢鋳物」と称し、発祥は奥州藤原氏の時代にまでさかのぼる。室町時代以降は鉄鍋や鉄釜をはじめ大砲の製造も手がけるなど、盛岡とは違う歴史を刻んできた。

「ここ水沢は、時代とともに生きてきた鋳物産地。当社も昭和21年、鍋や釜の製造から始まりましたが、時代の変化に合わせて産業機械関係に特化

してきました」。株式会社水沢鋳工所の及川勝比古社長がそう話す。

同社は水沢鋳物の発祥地・羽田町で創業し、7年後に市内春日町への移転とともに機械部品鋳物に品種を転換した。当時から主な供給先は関東の京浜工業地帯であり、高度成長とともに多様化する要望に応え実績を積み重ねてきた。

現在の生産品は、マンホールや止水栓などの下水道用部品ほか鉄道用部品、船舶部品など。いずれも摩耗性や耐蝕性、減衰性など鋳物の持つ特性を生かした製品で、顧客の約8割は県外だ。また当センターの紹介をきっかけに、20年程前には県内でもいち早く自動車部品へと参入、工場の海外移転

南部鉄器の技で炊飯ジャーの内釜を作る。不可能への挑戦が、「ものづくり日本大賞」受賞に結びついた。鋳物の伝統産地で、常識にとらわれないものづくりを続けてきた水沢鋳工所を訪ねた。

【いわて産業振興センターの活用実績】
 ○紹介事業により、自動車部品メーカーから自動車用部品の受注を獲得
 ○平成17年度より「工程改善研修会」へ参加、各工程の生産効率の改善を実現した

が進展した現在も一定の受注がある。「高速道や新幹線など交通インフラのお陰で顧客との出会いが広がった」と及川社長はいう。

不可能を可能にした高い技術で オリジナルブランド作りを描く

もちろん地の利だけで受注に繋がる訳などなく、及川社長は「いかに不良品を少なくするか、工程の工夫を重ねてきた」と振り返る。県内の鋳物業者ではほほ例のないISO9001:2008認証を取得したのもその一環で、生産品における不良率（不良発生率）は全国平均の3%を下回るわずか1.5%。それでも「目標は1.2%」と及川

社長は言い切る。そんな技術への不断の挑戦が招き寄せたのが、象印マホービンの高級炊飯ジャーの内釜製造。2010年12月、図面を携えたメーカー担当者が来社、昔ながらの羽釜炊きご飯を再現できる鉄釜づくりを打診された。

「家電に求められるのは、量産が可能なことや防さび加工、そして寸法や精度を出すこと。かなり難しくリスクもあったが、やろうと決めて試作に取りかかりました」。

挑戦は、想像通り難しいものとなった。問題は鋳物内部に気泡が入ることと、「当初は6割が不良品になった」と及川社長。2011年3月、東日本大震災により生産体制に支障をきたしたが

らも、同社は気泡を解消するため釜厚を調整するなど様々な改善を重ね、10月の一般発売にこぎつけた。反響は大きく、家電量販店では今なお品薄状態が続いており、2013年には国が実施する「ものづくり日本大賞」において、伝統技術の応用部門の経産省特別賞を受賞。「改めて南部鉄器のブランド力を感じた」とも及川社長はいう。

産業機械から家電へと、鋳物そのものの可能性を拓いた同社。「ゆくゆくは自社製品を作る体制を整えたい」と及川社長はビジョンを描き、「そのためには技術継承と常識にとらわれないものづくりが必要」と人材育成へも力を入れていく考えだ。

国内生産ならではの対応力やサービスが強み

確かに鋳物の需要は減少していますが、下水道用部品など多様なデザインに対応できるのは国内生産の強み。さらに当社では他素材の部材を調達し工場内で組み立てた「製品」を納入することで、海外との競争力を高めています。

技アリ!ポイント

企業データ

会社名 株式会社水沢鋳工所
 本社 奥州市水沢区太白通り1-8-15
 電話 0197-24-7218(代)
 代表者 及川勝比古

創業 昭和21年(1946)1月
 従業員 58名
 業種 鋳造、金属部品製造・加工、塗装一貫生産



代表取締役社長 及川勝比古

ごあいさつ

東日本大震災から3年が経過いたしました。本県経済は、求人倍率の高さなど、上向きの傾向が見てとれますが、被災地の本格的な復興は道なかばと言わざるを得ません。

そんな中、昨年、かねてより岩手県などが誘致していた「国際リニアコライダー(ILC)」について、北上山地への立地が適当であるという評価が出されるという大きな進展がありました。

正式決定はまだ先の話ではありますが、震災で大きな被害を受けた本県にとっては、平泉の世界遺産決定に次いで、明るい話題となりました。

より力強く前進する姿を、外にアピールしていきたいものです。我々も微力ながら、皆様の活動を支援してまいります。今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

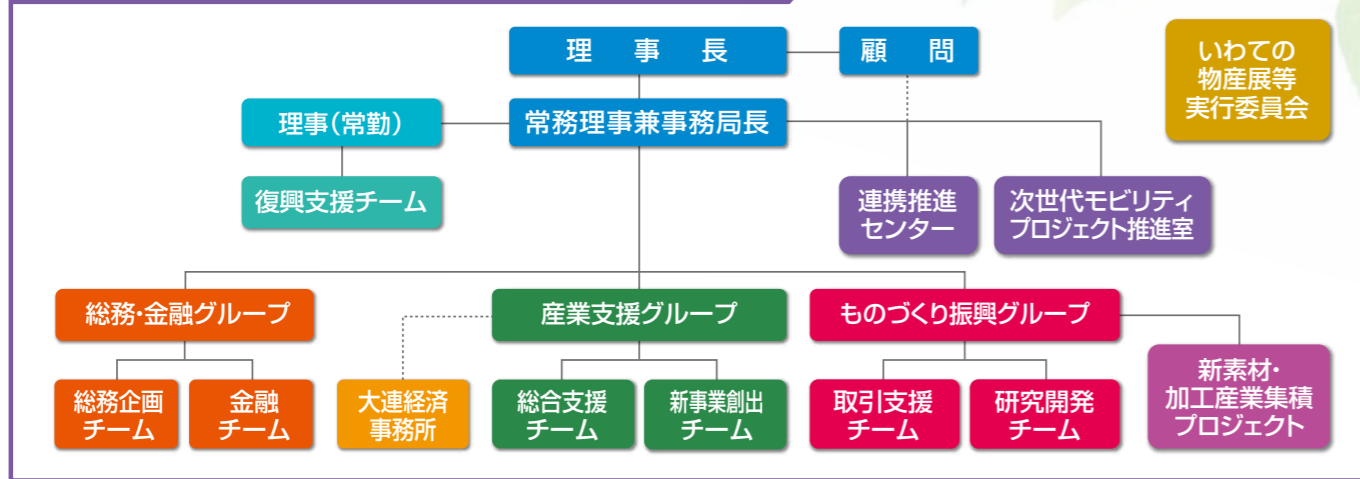


公益財団法人
いわて産業振興センター
理事長 熊田 淳



平成26年度 センター事業のあらまし

(公財)いわて産業振興センター組織体制



専門展示会等出展費用助成事業(通年)のご案内

公益財団法人いわて産業振興センターでは、首都圏等で開催される工業品分野を対象とした専門展示会等に出席を希望する県内中小企業に対し、出展料、小間装飾費の一部または全部を助成する「専門展示会等出展費用助成事業」を実施致します。積極的にご利用されますようご案内申し上げます。

※詳細は当センターのホームページに掲載しております。

募集期間	通年
申請対象	県内に本社、工場を有する中小企業
出展物	県内中小企業で製造された部品、完成品及び技術開発製品等
対象展示会	工業品(専ら鑑賞を目的とするものは除く)の分野の展示会 ※販売会、物産展は対象外
助成対象経費	出展料、小間装飾費
助成金額	限度額200,000円

【問合せ先】ものづくり振興グループ 取引支援チーム 堀合 TEL 019-631-3822 FAX 019-631-3830

総務・金融グループ

☎019-631-3820 (代表電話/総務・企画チーム)

センターの総務部門、設備貸与事業等を担当するほか、被災中小企業施設・設備整備支援事業(高度化貸付)に係る貸付事業及び東日本大震災復興特別貸付先・中小企業再生支援先に対する利子補給事業等により金融支援を行います。

総務企画チーム

☎019-631-3820 (代表)

センター業務全般について主管し、庶務・出納事務、関係機関との企画調整などを行います。また、中期経営計画に基づき経営改善に取り組むほか、公益法人改革に基づく運営を行います。

金融チーム

☎019-631-3821

1 設備の貸与 予算額:360,000千円

中小企業者のうち従業員20人以下(知事特認により従業員50人まで拡大)の小規模企業者が必要とする設備(一定の条件を満たした場合の中古設備も含む)を、当センターが企業に代わって購入し、長期、低利で割賦又はリースの形態により貸与します。

貸与期間	据置期間1年以内の半年賦又は月賦払、7年以内
貸与予算	360,000千円
利率(固定)	割賦金利 年1.65% (東日本大震災で被災し罹災証明書の発行を受けている場合は1.55%)
リース料(月額)	5年=1.822% 7年=1.346%
貸与金額	1企業100万円~8,000万円
保証金	貸与額の10%
保証人	法人の場合は代表者1名、個人事業主の場合は無

3 設備資金の貸付 予算額:350,000千円

小規模企業者、又は一定の条件を満たす従業員50人以下の企業が設備を導入する場合、所要資金の1/2以内(経営革新計画書が承認されている場合等は2/3以内)を、長期、無利子でお貸しします。

貸付期間	半年据置、7年以内
貸付予算	350,000千円
利率	無利息
貸付金額	1企業50万円~4,000万円 (新事業活動促進法の経営革新計画が承認されている場合等の限度額は6,000万円)
保証人	1の設備貸与事業に同じ
担保	譲渡担保(貸付対象設備)

2 機械類の貸与 予算額:1,500,000千円

当事業は設備貸与事業を補完する制度(県単独事業=岩手県地域産業活性化企業設備貸与事業)として位置づけられたものであり、中小企業者(企業組合、協業組合を含む)が必要な設備(一定の条件を満たした場合の中古設備も含む)を、当センターが企業に代わって購入し、長期、低利で割賦の形態により貸与します。

貸与期間	据置期間1年以内の半年賦又は月賦払、最長10年 (東日本大震災で被災し罹災証明書の発行を受けている場合は据置期間2年)
貸与予算	1,500,000千円
利率(固定)	割賦金利 年1.65% (東日本大震災で被災し罹災証明書の発行を受けている場合は1.55%)
貸与金額	1企業100万円~1億円(組合等は8,000万円)
保証金・保証人	1の設備貸与事業に同じ

※設備貸与制度等については8ページもご覧下さい。

4 被災中小企業施設・設備整備支援事業(高度化貸付)

中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業における復興事業計画の認定を受け、又は法に基づき整備される仮設事業施設に入居することにより復旧・復興を図る中小企業者等に対し、当該事業に係る施設・設備資金を無利子で融資し、県内産業の復旧及び復興を促進します。

貸付期間	据置期間5年以内の月賦払、原則として20年以内
貸付予算	5,083,540千円
利率	無利息
対象物件	資産計上される建物、構築物又は設備
貸付金額	原則としてグループ補助認定事業費の1/4 (但し、必要額の1%又は10万円のいずれか低い額の自己資金が必要)
保証人	法人の場合は代表者1名、個人事業主の場合は無

5 利子補給

● 中小企業災害復旧資金利子補給

東日本大震災復興特別貸付を受け事業所等が全壊又は流失した中小企業者等に対して3年間利子を補給します。

● 中小企業再生支援利子補給

中小企業者等が岩手県産業復興相談センターを活用し、事業の再建を行う場合、再建手続きに要した期間に係る旧債務の利子補給を行います。

産業支援グループ

☎019-631-3823~4

総合相談窓口を開設し、県内企業の各種相談に対応します。経営革新を目指す県内中小企業に対して、専門家の派遣や、「いわてものづくりアカデミー」の開催、特許等知的財産取得指導など総合的な支援を行います。いわて希望ファンド事業、農商工連携ファンド事業を通じて、新規事業に取り組む企業や地域資源を活用した新たな取り組みを行う企業に助成金交付による支援を行います。さらに、異業種交流グループ活動の推進、県北地域のアパレル関連企業の取引拡大支援、岩手の食品、工芸品の販路拡大の支援にも取り組みます。また、広報誌の発行やホームページの運営などを通じて各種情報を発信するほか、地域プラットフォームの代表機関として県内48機関と連携して国などの中小企業支援施策情報の発信や中小企業・小規模事業者の経営支援を行います。

総合支援チーム

☎019-631-3823

1 総合相談窓口の開設

職員及びコーディネーターによる総合相談窓口を設置し、中小企業等の経営改善、販売促進、商品開発、事業化、創業等、広範な相談に対応し、問題解決を支援します。相談案件によっては、外部支援スタッフも活用してきめ細かく対応します。また、震災に関する相談も受け付けます。

2 専門家の派遣

経営革新、新規事業参入等に関する専門的、かつ高度な分野における相談について、専門家を派遣し問題解決を支援します。

3 人材の育成支援

中小企業向け人材育成プログラム「いわてものづくりアカデミー」7コース開催します。
※「いわてものづくりアカデミー」については、本誌先月号や、当センターホームページで紹介しておりますので、ご覧ください。

4 県北地域の産業振興

県北地域の産業活性化を図るため、集積度の高い繊維産業を中心に、経営改善への取り組みや取引拡大に向けた支援を行います。

新事業創出チーム

☎019-631-3824

1 いわて希望ファンド事業の推進

地域経済の活性化を図るため、県内中小企業等が行う地域資源等を活用した個性的な取り組み、起業や経営革新による革新的な取り組み、中心市街地活性化に向けた新たな取り組みへの、助成金による支援を行います。

2 いわて農商工連携ファンド事業の推進

本県の地域経済の重要な担い手である農林水産業と中小企業者との連携体(農商工等連携)が行う創業や新たな事業展開等への、助成金による支援を行います。

3 新事業・新分野進出の促進

「スーパーマーケットトレードショー」に出展し、本県食品産業をアピールします。また、希望ファンド・農商工連携ファンド利用企業のフォローアップやセミナー開催等を通じ、農林水産業を含めた県内企業の振興を図ります。

大連経済事務所

今後一層の市場性が見込まれる中国との経済交流や観光誘致に取り組むため、県内企業・団体・行政機関の行う活動の現地での支援拠点として、県が設置しているものです。当センターは運営事務を担当します。

大連経済事務所
の
主な事業

- (1) 県内企業の対中ビジネスの支援
- (2) 中国経済・産業情報の収集と発信
- (3) 対中経済交流プロジェクトの支援
- (4) 中国との各種交流の支援

5 外国出願の支援

海外での知財の利用を視野に入れた、外国での特許出願や意匠・商標出願を、経費一部補助によって支援します。

6 各種広報活動

センターや国・県の施策情報、センターの事業を活用した企業の事例紹介等を掲載した広報誌「産業情報いわて」を毎月発行し情報を提供します。ホームページにはセンターの事業内容や震災関連ポータルサイトを通して各種情報を発信します。

7 異業種交流の支援

企業見学会・交流会等を通し、次世代経営者の交流促進と、異業種交流を支援します。

8 被災企業の支援

県と連携して支援機関同士の連絡調整を図りながら、各企業の抱える問題解決のために専門化派遣事業を通じて被災企業者の復興を支援します。

ものづくり振興グループ

☎019-631-3822・3825

本県の主要産業である「ものづくり産業」への支援を、産学官の関係機関と連携しながら進めます。県内ものづくり中小企業等の受注の安定化を図るため、首都圏取引支援の強化・新規取引先の開拓、及び各種商談会・展示会等を実施し取引あっせんを迅速に行います。工程改善のための支援も行います。また、本県戦略産業に位置づけられている「自動車」「半導体」「医療機器」「情報」の各関連産業の振興を図ります。さらに、研究開発の支援と事業化を促進するため、コーディネーターを配置して、産学官連携による共同研究プロジェクトを構築し、外部資金の導入支援を行い早期の事業化を推進します。

取引支援チーム

☎019-631-3822

1 受・発注取引の支援

- 東北及び関東地区等県外の発注企業に対し、新規発注動向調査を年3回(約10,000社)実施し、回答企業のうち発注の可能性のある企業を選定して200社を目標に訪問するなど、発注開拓実施します。
- 県内受注企業300社を目標に企業巡回を実施し、個々の企業の特徴・稼働状況を把握して発注案件に迅速に対応します。
- 県内で「いわて商談会」を、首都圏で東北北3県(青森県、秋田県、岩手県)合同で開催する商談会と加工部門別商談会をそれぞれ1回開催します。

2 展示会への出展支援

- 首都圏で開催される国内最大級の展示会である機械要素技術展への共同出展や専門展示会への出展を支援します。
- 専門展示会に出展する企業を対象に、出展準備や展示方法、プレゼンなどの仕方を学ぶ研修会を開催するとともに、出展予定企業の希望に応じて、個別に専門家を派遣して支援します。

3 自動車関連産業の創出推進

- 自動車関連メーカー、自動車関連部品メーカー向け展示商談会を企業関係者や東北各県・各支援機関と連携して開催します。
- 県等と連携して、自動車関連メーカーや自動車関連部品メーカーのニーズ等に基づき、自動車関連産業への参入や取引拡大を支援します。

4 半導体関連産業の取引あっせん

- 半導体関連産業の取引拡大を図るため、コーディネーターを配置し、発注企業のニーズ把握と新規発注情報の収集を迅速に行い、半導体関連産業の取引あっせんの強化を図ります。
- 半導体関連産業における国内最大規模の展示会、企業内覧会に関係機関と連携のうえ出展し、新規取引先開拓を支援します。

研究開発チーム

☎019-631-3825

1 いわて戦略的研究開発支援事業

岩手県が選定した産学官連携による研究開発プロジェクト構成員相互の調整、知的財産権を含む財産管理等の事業管理を行うとともに、研究開発成果の事業化を支援します。

2 戦略的基盤技術高度化支援事業

中小企業のものづくり基盤技術(casting, 鍛造, 切削加工, めっき等)の向上につながる研究開発の「戦略的基盤技術高度化支援事業」への提案や採択事業について、管理法人または事業管理機関として、研究開発や事業化に向けた取組みを支援します。

5 医療関連機器産業の参入促進

- 県内製造業の技術紹介や医療機器等の試作品の販路開拓を行うため、全国規模の医療機器展示会等に出展を行うなど、情報発信を行います。
- 研修会や交流会を開催し、医療機器メーカー等と県内企業の取引の機会を提供します。

6 加速器関連産業参入の可能性調査

- 国際リニアコライダー(ILC)の東北誘致に向けて、加速器関連産業への地元ものづくり企業の参入に必要な要素技術の調査や参入ロードマップの作成、企業マッチング等を行います。

7 ソフトウェア開発業務取引の支援

- 県内IT関連企業の取引拡大を図るため、首都圏の業界団体と県内IT関連企業とのマッチングを行う交流会を開催し、新規取引先開拓の強化を図ります。
- 「組込み総合技術展」への出展補助を行うほか、「いわて組込み技術研究会」を継続開催し、産学官の連携・交流を行い、技術の高度化・新市場への参入を促進し、取引拡大を支援します。

8 工程改善指導

- 工程改善の定着化を推進するため、産業創造アドバイザーによる工程改善個別指導やコーディネーターによる工程改善研修会を行います。



設備貸与制度のご案内

長期

5年～10年

低利

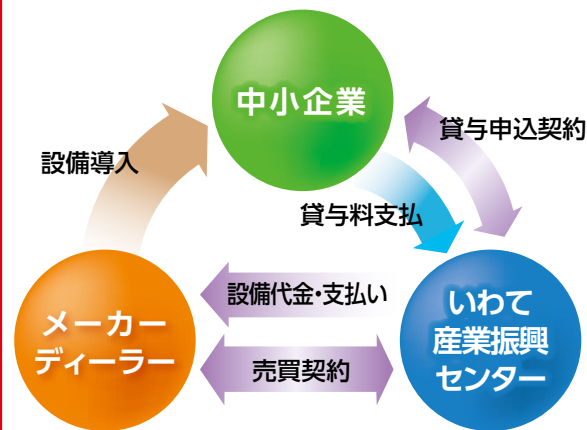
年1.65%

無担保

金融機関の借入枠とは別枠です

制度のしくみ

「設備貸与制度」は、中小企業の皆様が機械・設備を導入するときに、センターがそれを商社・メーカーから直接購入して、低利で割賦販売またはリースをする、公的制度です。



以下のいずれか1つの条件を満たせば、

最長10年、1億円まで貸付可能です。(リースは除く)

- (1) 経営革新計画の承認企業
- (2) 異分野連携新事業分野開拓計画の承認企業
- (3) ISO9000/ISO14000の認証取得企業
- (4) 加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
- (5) 県内企業5社以上へ下請発注している企業
- (6) 県内企業への下請発注額が年間1,000万円以上の企業
- (7) 申請する設備を設置することで(4)～(6)に該当する企業でも可

東日本大震災で設備または事業所が被災し、市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業

**最長10年、措置期間2年
利息1.55%で貸付可能です。**

※一部、対象とならない業種、設備があります。センターにお問い合わせください。

区分	設備貸与(割賦販売)	リース
対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業(企業組合・協業組合含む)	従業員20人以下の県内小規模企業者(商業・サービス業は5人以下)
貸付期間	原則5年または7年	原則5年または7年
貸付限度額(消費税含む)	100万円～8,000万円	100万円～8,000万円
対象設備	設備(建物を除く)	汎用設備(車輛を除く)
保証金	貸与額の10%(最終償還時に返済)	—
利息(貸与損料)リース料	年1.65%	5年=1.822% 7年=1.346%
連帯保証人	法人:代表者1名、個人事業主:なし	

お問い合わせ

総務・金融グループ

☎019-631-3821 FAX019-631-3830
http://www.joho-iwate.or.jp/setsubi

(公財)いわて産業振興センター広報誌

産業情報いわて

2014年4月10日(毎月10日発行)

発行/公益財団法人 いわて産業振興センター

〒020-0857 盛岡市北飯岡2丁目4-26(岩手県先端科学技術研究センター2F)

TEL.019(631)3823

E-mail joho@joho-iwate.or.jp URL http://www.joho-iwate.or.jp/

編集印刷/川嶋印刷株式会社



この冊子は地球に優しいベジタブルオイルインクを使用しています。